

高崎市立岩鼻小学校

学校の取り組みの概要

本校の環境教育の方針として、基本としていることはこの2つです。

- ① みんなで取り組める活動をする
- ② できる限り長く活動を続けていく

そのなかで、重点的に取り組んでいること2つを紹介します。

ペットボトルキャップの回収

世界では、20秒にひとりの割合で、ワクチンがないために生命を落とす子どもがいるそうです。「わたしたちにも何かできることはないだろうか。」そんな思いから、ペットボトルのふたを集める運動に参加しはじめました。ペットボトルのふたをたくさん集めて加工すると、家電製品を作るためのリサイクル素材になります。2キロ（約860個）集めると、およそ20円の買い取り価格になるそうです。そこで、ペットボトルのキャップを学校全体で集めて業者さんに買い取ってもらい、そのお金を困っている国や地域にワクチンを送る運動をしている団体に寄付するという活動に参加することになりました。



岩鼻小学校では、児童玄関の入口近くにペットボトルキャップ回収の入れものを置き、いつでも回収できるようにしています。昨年度は、1年間で約34キロ回収することができました。20本分のワクチンを買えた、という計算になりました。

花のある学校づくり

岩鼻小のみんなが多くの人に自然に触れ、自然に対する愛護の気持ちを持てるように、学年ごとに植物を植えています。

2学期には、1年生と栽培委員で花を植え替えています。この活動は、「緑の少年団」とタイアップしているものです。

① 花壇の除草作業



＊草取りは大変です。今年度は三世代ふれあい清掃が開催できなかったため、栽培委員会をはじめ、たくさんの方が草取りをしてくれました。

② 人権の花の栽培



＊花壇を耕して、種をまくところからマリーゴールドを育てました。休み時間に栽培委員が水やりをして、満開の花を咲かせました。

③ 来校者を歓迎する「校内花いっぱい運動」の展開



きれいに咲いてね！
おおきなあれ〜♪

